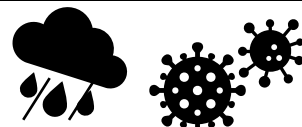


## タイトル： 復旧作業に使用する掃除道具類を高い場所に配置



水害

感染症

### ポイント

- 被災時の復旧作業に使用する掃除道具類を準備し、水災時でも浸水しないよう高い場所に配置
- BCP策定を契機に、水災補償の対象外であった工場・機械も補償を付保

### BCP策定のきっかけ

- 当社は、1968年設立の鋼板切断・精密板金加工などシートメタル加工全般を手がける100%受注生産が特徴の企業。少量多品種の製造が強み。
- 当社が立地する地域は1948年の西日本水害以降、水害による甚大な被害は発生していなかったが、2012年に主要取引先からBCP作成を求められたことをきっかけに、風水害を前提としたBCPの策定に着手。その後、感染症対策も追加。

### BCP策定時の課題と解決方法

- 策定にあたっては各所のBCP策定運用指針等を参考にしたが、専門用語が多く難解で、自社版のBCPにどう反映させるかに苦労した。
- こうした中、2012年の九州北部豪雨で被災。被災の経験を踏まえた実態に即した自社オリジナルのBCPを策定することとした。
- 策定した内容を従業員に確実に理解してもらえよう、図や写真を用いながら、具体的に従業員が何をすればよいかを記載。

### 策定した内容

- 水害に備えるため、防災対応用品の充実を図っている。具体的には水、食料などとともに、被災時の復旧作業に使用する掃除道具類（デッキブラシ、トンボ、高圧洗浄機など）を準備し、水災時でも浸水しないよう高い場所に配置。
- BCP策定過程で、水災に対応した損害保険に加入しているのは本社事務所のみで、工場・機械が水災補償の対象外であることが判明したため、すぐに水災補償を付保。
- その他、気象・警報レベルに応じた出社体制や従業員の携帯電話番号を含めた被災連絡網の整備、参集時の車両相乗り制度創設、欠員が生じた場合に備えた多能工リスト作成なども実施している。
- 助け合いの気風がある業界であることも手伝い、他地区の同業者との間で、操業が困難となった際には、互いに供給を引き継ぐ体制も構築した。

- 加えて、昨今の新型コロナ流行を受け、2020年に感染症対策をBCPに追加。感染症蔓延時における感染防止のための生活様式などを定め、感染者の増大を抑えることに焦点をあてた内容にしている。

### BCP策定後の効果

- 2012年の九州北部豪雨の際には、あらかじめ保険を見直していたことで、被害の多くを保険で賄うことができた。また、従業員の携帯番号連絡先を把握し、連絡体制を整えていたことで出社停止等の情報を迅速に各従業員に伝達することができ、従業員の安全を確保できた。人的被害を防いだことで、その後の復旧作業に注力することができた。
- BCP策定を契機に大手事業者からの問合せが増加。豪雨後、早期に事業再開できたことについて、大口の取引先から高い評価を得た。
- 被災の記憶を風化させないよう、新入社員研修や「防災の日」に毎年行っている防災訓練で当社が2012年に被災したことを伝承。また、台風接近前にBCPの手順も訓練。こうした取組を通じ、社員の防災意識の醸成につなげている。
- 災害対策のノウハウを災害報告書としてとりまとめ、その内容を同業者にも共有することで業界での防災意識向上に貢献した。



社屋2階の備蓄品

### 【会社概要】

企業名：株式会社ヤスナガ  
所 在：福岡県柳川市三橋町中山310  
資本金：3,850万円  
従業員数：54名  
業 種：金属製品製造業  
企業HP：<http://www.t-yasunaga.co.jp/>

### 活用施策

- ・事業継続力強化計画